

バレル研磨排水・全量精密ろ過装置

Ostle

オストル

**1台5役で、省スペース、省エネルギー、省資源を実現！
排水量増加時にも簡単増設**



Tipton Corp.

一台5役
省スペース!
省エネルギー!
省資源!を確立

Feature (特長)

Point1 省スペース (従来製品の1/5スペースを実現)

Ostleが物理処理(凝集沈澱、加圧浮上、ろ過、脱水など)の5役を1台に集約。必要なのは、化学処理(前処理)とOstleだけです。

Point2 省エネルギー (従来製品より大幅なコストダウン)

Ostleはろ過ポンプ1台のみの動力であり、他の物理処理に必要な多くの機器(攪拌機、送水ポンプ、真空ポンプユニット、脱水機など)が不要になり、維持管理やメンテナンスも簡単楽々。

Point3 省資源 (従来製品より薬品使用量が激減)

Ostleは凝集剤、沈澱促進剤、ろ過助剤が一切不要。
よって、薬品が少なければ、そのコストと共にスラッジ量も減少し、産廃コストの削減にも直結します。

Point4 排水量増加時も簡単増設

Ostleは、ろ板セットとサイドバーを購入すれば、簡単に排水処理能力を増強可能とします。



従来の凝集沈澱式では必要な、高分子凝集剤凝集槽、凝集沈澱槽がOstleでは不要となります。

Application (用途)

● バレル研磨排水以外にこんな排水にも効果的

塗装排水

化成処理排水

酸・アルカリ排水

ダイカスト離型剤排水

メッキ

アルマイト

セラミックス

フェライト

タイル

サイディングボード

切断排水

etc

Data (データ)

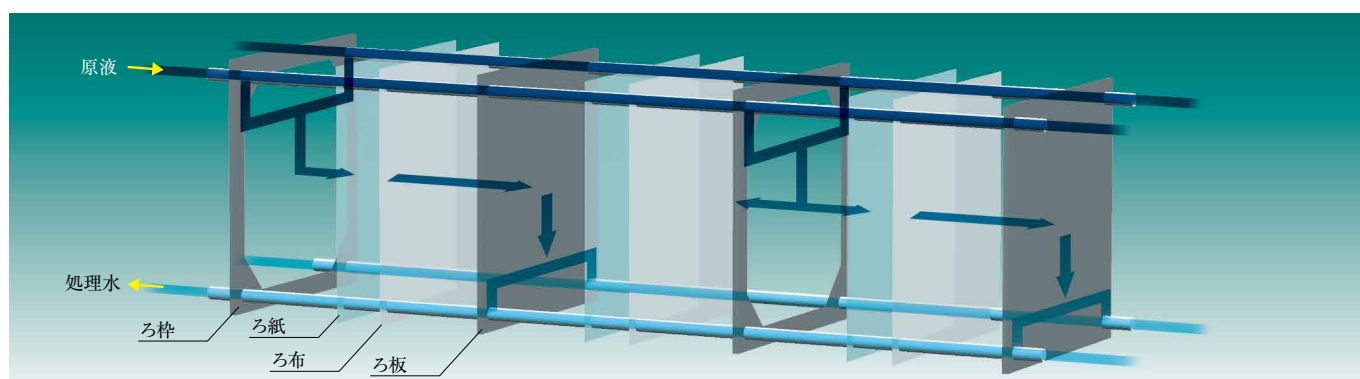


※バレル研磨条件により原水は異なりますので1つの参考目安としてください。

クリーンな環境づくりは人類永遠の課題

チップトンはクリーンな環境を提供します。

Structure (構造)



Ostle内部の構造と液の流れ

脱水機

- ろ紙ろ過のため、ろ紙ごと廃棄するのでケーキ取り出しが簡単。
開枠毎に交換
- ろ布の目詰りが無く、ろ布交換は基本的に不要。
年1～2回程度の交換サイクル



Performance (性能)

全量ろ過方式

原水濃度変化に影響されず処理水が安定しています。(濃厚液にも安定対応)

※精密ろ過のため、ろ液からスラッジの流出もありません。

バレル排液の特長と処理ポイント

バレル排液は、研磨作業の工程上、排液の濃度が安定せず、排液中のSS濃度も高いという特長があります。バレル研磨機を多くご利用の場合でも水質の平均化が図れそうなのですが、バラツキが多く、一般的には原水槽を大きく取り、水質の安定化を図る方法を取ります。その際SS濃度が高いことで槽内にSS分が沈降し、そのメンテナンス(清掃)が重労働となっているわけです。すなわち、濃度の安定しない排液をどう処理するかが重要となります。

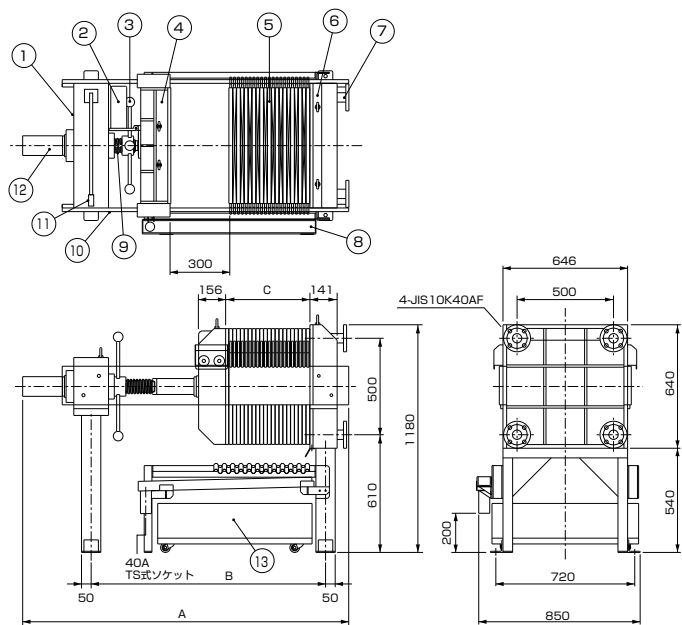
バレル排液は、放流規制対象となるpH、BOD、COD、ノルマルヘキサン抽出物(油分)、SS(もともと含有されているスラッジ及び化学処理にて発生するスラッジ)を中和、除去するために、

1. 経験と実績に基づいた化学処理(中和処理)
2. 排水全量をろ過して処理水質を安定させる物理処理(固液分離)

この2つのブロックに構成され処理します。

排水処理量に合わせて選べる4タイプ

■ Ostleシリーズ仕様



※型式:600角×ろ室数となっており、600シリーズは60室まで装着できます。
※仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

■ PFA (パラオートフィルター)



全自動タイプもございます。

※全量ろ過で水質が安定しているため無人運転が可能。



■ 環境ISOをサポートする カスボンクリーナー



カスをボン! と捨てられる。

圧縮エアで作動し、簡易移動式。

- スラッジの脱液処理
- 液中掃除で液の寿命を延長

※工作機械のクーラント液、ろ過用としてまた、その他
カートリッジフィルターとしての代替に最適です。



本社 名古屋市南区豊田3-19-21 〒457-8566 TEL 052 (692) 6666 (代) FAX 052 (692) 9445
飛鳥工場 愛知県海部郡飛鳥村大宝3-25-1 〒490-1438 TEL 0567 (56) 7500 (代) FAX 0567 (56) 7513
東京営業所 埼玉県さいたま市緑区大門2592-3 〒336-0963 TEL 048 (812) 6678 (代) FAX 048 (812) 6679
名古屋営業所 名古屋市南区豊田3-19-21 〒457-8566 TEL 052 (692) 7175 (代) FAX 052 (692) 0249
浜松営業所 静岡県浜松市中区高丘北四丁目13-32-7 〒433-8119 TEL 053 (430) 2245 (代) FAX 053 (420) 6771
大阪営業所 大阪府吹田市南吹田5-19-12 〒564-0043 TEL 06 (6190) 1800 (代) FAX 06 (6190) 1807
広島営業所 広島県安芸郡海田町寺迫2-11-42 〒736-0011 TEL 082 (824) 3531 (代) FAX 082 (824) 3192
株式会社チップトン 富山市金山新107 〒930-2206 TEL 076 (435) 1281 (代) FAX 076 (435) 1282
品質に関するお問い合わせは品質保証室へ
設備のメンテナンスに関するお問い合わせはエンジニアリング課へ
ホームページ <http://www.tipton.co.jp>
E-mail sales-department@tipton.co.jp

●お問い合わせ先



このカタログは環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。
※本カタログ内に掲載の記事・写真などの一切の無断転載を禁じます。